



受付日：平成27年2月23日  
 受付番号：HP15-KT049

## 接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
 平成27年3月30日

東京都港区芝5-1  
 徳栄ビル本館4階  
 ハウスプラス確認検査株式会社  
 代表取締役社長 川股 善志



1. 接合金物名称	「クリSW付丸座金」																																				
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9																																				
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の構造試験を実施し、荷重-変位関係を明らかにする。																																				
4. 試験内容	座金のめり込み試験 なお、準拠する試験方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。																																				
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物          「クリSW付丸座金」          材質：座金部：SPHC (JIS G 3131)*1)          パネ部：SWRH57~77 (JIS G 3506)*2)          寸法：座金部：外径φ45.2mm、板厚4.5mm、孔径φ14mm          パネ部：外径φ22.7mm、内径φ13mm、板厚3.2mm          表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 (JIS H 8610)*3)</p> <p>「六角ナットM12」          材質：強度区分4を満足する炭素鋼(JIS B 1181)*4)          寸法：M12          表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 (JIS H 8610)*3)</p> <p>2) 軸組材料          木材：105mm×105mm スギ 無等級材*5          含水率：10.0~14.5% 全乾密度：0.36~0.38g/cm<sup>3</sup></p> <p>*1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯          *2 JIS G 3506 硬鋼線材 試験では、SWRH62Aを使用した          *3 JIS H 8610 電気亜鉛めっき          *4 JIS B 1181 六角ナット          *5 試験では、芯持ち材を用いた。接合金物がめり込む周辺部は節等の欠点を含まないものとし、縁距離</p>																																				
6. 試験条件等	試験体は、鋼製ブロックの上に設置し、加力点から木材両木口側150mmの位置で鋼帯(接触面寸法：100mm×100mm)を用いて強固に緊結した。 加力方向と木材の繊維方向とのなす角度は90度とした。 木材の幅方向の中心に孔(φ15mm)をあけ、加力用ボルト(全ねじハイテンションボルトM12)、座金(80mm×80mm)及び六角ナットM12により、座金を木材に固定した(締付けトルク管理値：30N・m)。 試験は、単調加力とし、載荷速度を0.04mm/秒とした。試験体数は6体とした。																																				
7. 試験結果	<p>特定変位時荷重</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定変位 [mm]</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荷重(6体の平均値) [kN]</td> <td>9.93</td> <td>11.40</td> <td>12.61</td> <td>13.79</td> <td>14.80</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>0.409</td> <td>0.529</td> <td>0.926</td> <td>0.992</td> <td>0.978</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定変位 [mm]</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荷重(6体の平均値) [kN]</td> <td>15.67</td> <td>16.38</td> <td>17.18</td> <td>17.69</td> <td>18.45</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>1.007</td> <td>1.165</td> <td>1.256</td> <td>1.094</td> <td>0.933</td> </tr> </tbody> </table>	特定変位 [mm]	1	2	3	4	5	荷重(6体の平均値) [kN]	9.93	11.40	12.61	13.79	14.80	標準偏差	0.409	0.529	0.926	0.992	0.978	特定変位 [mm]	6	7	8	9	10	荷重(6体の平均値) [kN]	15.67	16.38	17.18	17.69	18.45	標準偏差	1.007	1.165	1.256	1.094	0.933
特定変位 [mm]	1	2	3	4	5																																
荷重(6体の平均値) [kN]	9.93	11.40	12.61	13.79	14.80																																
標準偏差	0.409	0.529	0.926	0.992	0.978																																
特定変位 [mm]	6	7	8	9	10																																
荷重(6体の平均値) [kN]	15.67	16.38	17.18	17.69	18.45																																
標準偏差	1.007	1.165	1.256	1.094	0.933																																
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24																																				
9. 試験実施日	平成27年3月19日																																				
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳																																				

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。

## 評 定 書

株式会社栗山百造

代表取締役社長 栗山 百次郎 様

平成27年2月23日付で申請を承諾した下記の構造方法について、別紙評定報告書に基づき構造耐力上支障ないものと判断し、評定する。

平成27年3月30日

ハウスプラス確認検査株式会社

代表取締役社長 川股 孝志



## 記

## 1. 件名

座金部：熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 SPHC (JIS G 3131)、板厚 4.5mm、外径  $\phi$  45.2mm、孔径  $\phi$  14mm / バネ部：硬鋼線材 SWRH57~77 (JIS G 3506)、板厚 3.2mm、外径  $\phi$  22.7mm、内径  $\phi$  13mm / 木造軸組工法建築物の木材とボルト等を緊結させるための座金「クリ SW 付丸座金」

## 2. 評定事項

「クリ SW 付丸座金」の引張方向に対する構造性能が、「厚さ 4.5mm、40mm 角の角座金」(平成 12 年建設省告示第 1460 号第二号表 3) と同等であること

## 3. 評定結果

「クリ SW 付丸座金」の引張方向に対する構造性能は、「厚さ 4.5mm、40mm 角の角座金」(平成 12 年建設省告示第 1460 号第二号表 3) と同等である

ただし、「クリ SW 付丸座金」の品質管理については本評定の範囲外とする。

以上